



与謝野町 第45号 平成29年8月10日発行

# 議会だより

題字：加悦谷高等学校 書道部(吉岡里恵さん)



消防団・団長点検

6月定例会のようす	2
補正予算・特別会計	3
専決処分	7
委員会活動報告	9

特集	・ どうなる「道の駅」	10
	・ 水源に油流入	12
	・ 空き家対策	12
一般質問	ここが聞きたい(12人)	13
まちの宝	子どもページ	20

～生産から流通まで機能強化～



2台で大丈夫？

## 町有バスの利用状況は

高岡 伸明

**問** 現在2台のバスで運行されている。予約が取れないと聞くがその状況は。

**教育次長** 今のところ問題は発生していない。

**問** 利用範囲が片道150kmに制約されているが、その理由と影響は。

**教育次長** 白バス運行と疑われないよう指導を受け、定めた町有マイクロバス運行規定で片道150kmとしている。



自主返納で4月からタクシーも利用できる

## 運転免許返納支援制度

有吉 正

**問** 選択肢が、ひまわりバス・丹海・丹鉄に加え、4月よりタクシード利用ができることになった。やむを得ず頂いたが使う機会がなくて、タクシード利用券に交換してほしいとの声を聴くが、なぜできないのか。

**企財課長** 役場や府は予

議会だより44号の訂正とお詫び

- ①表紙の見出し
- (誤) 昨年度決算プランド戦略↓(正) 新年度予算プランド戦略
- ②5ページ中ほど
- (誤) アケート用紙↓(正) アンケート用紙

《補正予算の質疑者》

高岡・有吉・小牧・安達・伊藤・和田・藤田・多田・塩見・家城・今田



## 主な事業

- 加悦奥特定空き家廃棄物処理費用 200万円  
(ブラウン管やガラス屑の廃棄物搬出作業費)
- コミュニティ補助金幾地区へ 250万円  
(住民自治活動支援事業へ支援するもの)
- 運転免許証自主返納の増加による (丹海バスなどの回数券購入費用) 30万円
- 京都丹後鉄道利用促進事業 (落石防止の防護柵設置) 682万円
- 過疎地域等集落ネットワーク事業 1800万円  
(農産物出荷機能6次産業の強化)
- クアハウス岩滝管理運営 (修繕・改修工事など) 375万円
- 道路維持補修工事追加 (国の補助金増加による) 4200万円

## 29年度 6月補正 一覧

単位:万円

会計別	補正額	予算総額
一般会計(第1号)	5525	115億9925
特別会計		
下水道(1号)	39	16億9189
農業集落排水(1号)	0.3	4100
国保(直営診療所)(1号)	1421	8421
水道事業(1号)収益的収入	1930	—
"  支出	36	—

## 定例会のようす

6月定例会は2日から22日までの21日間で開催した。初日に加悦中学校外構工事請負契約の変更など報告2件。財産区管理委員の選任など専決処分9件。一般会計補正予算では、農産物の集出荷体制の強化を盛り込んだ6次産業の推進に向けた取り組みなどについて

町長より提案説明があった。一般質問には12人が登壇し、2日間にわたり、日本遺産の認定、第三セクター、消防団員の確保、北朝鮮ミサイル問題などで町政をたじた。本会議の質疑では、運転免許証自主返納制度、産業創出交流セン

ター(旧岩滝母と子どものセンター)の管理運営などについて議論が白熱し、延べ27人が質疑を行った。最終日に「クアハウス岩滝の存続を求める請願」が提出され、所管の委員会に付託された。なお、傍聴者は9人だった。

安達種雄

**問** 町内で空き家が近年急速に増加傾向であることは現実の問題としてやむを得ないが、町内にあ

**問** 中学校生徒の通学と、市場保育所の園児の通園路



通学に危険な空き家

**総務課長** 危険が早く解消するよう努力するべきだ。岩屋でも最近危険物件であった空き家が撤去された。町内の現状は、**総務課長** 最近3件撤去が終わり、現在2件が進んでいる。

藤田史郎

**問** 住民自治活動支援の自治宝くじ助成金はどのように配分しているのか。

**問** 合併して多くの自治区になっても、宝くじ助成金は変わらず250万円である。行政での上積みを目指すか。

**地域おこし協力隊員**



地域に貢献・・・宝くじ助成

**問** 観光地域づくり組織支援事業として、各事業に4名の協力隊員が配置、活躍されている。海の京都・日本遺産認定に伴う関係での地域おこし協力隊員の新規活用への考えは。

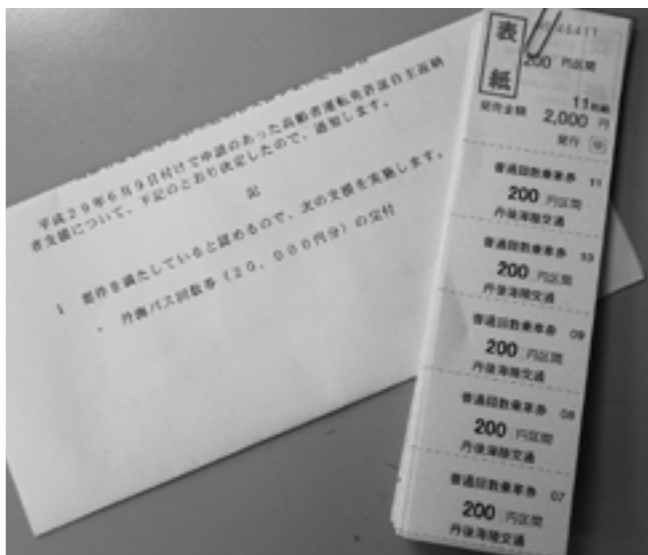
**観光課長** 主体である海の京都DMOの今後の取組を見て、必要であれば検討する。

返納しやすい環境を

和田裕之

**問** 65歳以上の運転免許証自主返納率は、全国でも2%〜3%に留まる。交通事故減少が目的だが、事業が進まない原因をどう分析されているのか。

**防災課長** 協議し、研究したい。



自主返納でもらえる回数券

地域おこし協力隊員

多田正成

**問** 協力隊員の公務員としての処遇は。

**町長** 温泉も含め活用方法を検討。8月には諮問委員会の答申が頂ける。その意見を尊重したい。

**補正には意味がある**

家城 功



**問** 受け止め、審議協議をし、可能か否か明確な方向を示し、充実した議会との関係を築いていく。

**問** すべての事業で最優先されるのは「町民」、そのことも認識すべき。

集落支援事業の活用を

伊藤幸男

**問** 過疎地域等集落ネットワーク圏形成支援事業は、農林課でどういう成果があったか。

**問** 同事業を他の課も積極的に活用すべきでは。



活躍する地域おこし協力隊

**問** すべての事業には「意義・大義」があり、補正にはそれに対しての意味がある。理解できる説明をし、変更や見直しに対しては中身を伝え、謝罪も含め責任をしっかりと果たして進めるべき。

**商工課長** 特に「旧岩滝母と子どものセンター運営事業」については、変更点も含め不十分な説明に対し深くお詫びする。



がんばる女性たち

# 専決処分

## 28年度 補正予算など

### 特別会計補正

#### ▽下水道

使用料の改定により  
3258万円の増

#### ▽農業集落排水

使用料の改定により  
20万円の増

#### ▽国保（石川診療所）

常勤の上田医師がフルタイムで勤務出来なくなったため、4月以降は上田医師、北部医療センターによる診療体制が確保できた。あくまでも今回は、次期の常任医師が見つかるまでのものであるため、その対策として、コンサル会社からの紹介による新たな医師の確保を目指し、成功報酬と、週5日の診療収入を計上した。1421万円の増

#### ▽水道事業

使用料の改定により  
1903万円の増

### 専決補正一覧

単位:万円

会計	補正額	累計額	
一般会計9号	△2億3928	139億3376	
特別会計	下水道4号	△1170	16億381
	介護保険4号	△6	26億9664
	国民健康保険5号	△6438	31億2129
	後期高齢者医療3号	△420	2億7200

### 一般会計繰越明許費

一般会計事業総額 16件 10億7540万円

主なもの(28年度⇒29年度) 単位:万円

認定こども園施設整備事業	3億5129
農業用施設整備事業 (土井根井堰 多田谷水路)	1億6800
有機物供給施設管理運営事業 (京の豆っこ肥料工場)	2億500
冷凍米飯加工施設管理運営事業	1億1400

## 国保診療所医師の確保

塩見 晋



国保診療所

**問** 補正予算の歳入で外来収入が1421万円の増額となっているが、**保健課長** 当初予算では、昨年まで常勤の上田医師が、週2日の診療予定になった。4月になって休診としていた月曜と金曜を診療支援として、北部医療センターより医師が来ていただけることになりその増加分。**問** 医師確保に役務費が必要なのか。

**保健課長** お世話になってきた医師は地元にお帰りの希望があり、医療センターからの支援も一時的なものである。現在、自力で医師を探しているが、民間の医師の紹介会社にも並行して依頼をしている。来ていただける医師と契約が出来たときに、成功報酬として紹介会社に支払うための予算措置。

## 奥滝水道に油が混入

今田博文



**問** 水道水に油が混入する事故が発生した。なぜ起きたのか。**上下水課長** 水道施設があるため業者には特に濁度、油について注意したが、業者のミスで起きた。**問** 関係者と協議や調整は出来ていたのか。**上下水課長** 業者との打ち合わせのみだった。今は関係機関との調整をしっかりとやりたい。**問** 事故発生以来給水活動や復旧に向けて夜を徹して頑張つて頂いたが、町の発注でないため甘さがあったのではないのか。**上下水課長** あってはならない事がおきた。全力で現場復

旧を優先し、住民へのケアが不足した。長期にわたる復旧は原課だけでは難しい。**問** このような事故は全庁挙げて取り組むべきだ。**町長** 復旧第一に取り組んだが、反省はある。**問** 事故が起きた時の行動指針を作成すべきだ。**上下水課長** 課題だ。**副町長** 指名委員会で協議している。

## 一般会計補正

### 施設運営はどなか

高岡伸明

**問** 産業創出交流センターの特徴・セールスポイントはどこか。**商工課長** これまでにないデザインにしている。今後、観葉植物なども置きたい。**問** 町外利用者の告知は。

**商工課長** 今年度は町直営で行う。プレイスから企画提案があったが、現時点では運営予定はない。今後は協議したい。



## 基本条例の規定を守れ

伊藤幸男

**問** 町の産業政策では「まちづくりの憲法」と位置付けた中小企業振興基本条例に、その具体化をする産業振興会がある。いま町の産業振興のひとつと位置付け、多額の予算を使うブランド戦略の協議会（仮称）は、同振興会議のもとで進めるべ

きもの。しかし密接な「連携」で進めるとしている。そうではなく、基本条例に基づき、そのもとで進めるべきでは。**町長** 町の地域ぐるみで相互に支援をして行うという基本条例の産業振興会議とは密接に連携して行なっていく。

7 ※ 原稿はすべて本人が提出しています。

### 6月定例会 賛否一覧

賛否もの分かれた議案のみ掲載

○印は賛成 ×印は反対 (議長は賛否同数の時のみ態度を表明し、議案の成否を決定します)

定例会 審議案件	議員名	有吉	高岡	河邊	小牧	安達	江原	和田	伊藤	藤田	宮崎	渡邊	多田	今田	家城	塩見	勢旗
H29年度一般会計1号補正	賛成:反対 14:1	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-

# 委員会報告



消防団との懇親会

## 総務文教厚生常任委員会

### 町消防団との懇談会

平成29年5月8日

正副団長4名、正副分団長20名、議員8名、事務局2名、防災安全課2名、総計36名、各分団から消防団活動の現状と課題について報告意見交換を行った。

《各分団より》  
 団員確保が困難。団員が幼稚園や他の役員となり消防より優先してしまう。町外勤務者が半数以上で消防車が出せる体制にならない。

水利の確保。祭や行事など地域コミュニティを大切に活動に興味を持ち入団してもらえようとする。

消防団員優遇制度・協力事業所制度の向上見直しが必要。大地震の時は水道管が破裂し消火栓が使えなくなることもあるので、自然水利・防火水槽を常に頭に入れて活動するが、旧町単位の設備的な差があるので改善必要。分団同士の連携地域での消火訓練も必要。

### 就労継続支援A型施設「スマイレ」視察

平成29年5月12日

就労継続支援事業所のスマイレでは、現在15名の障害者の方を雇用されている。特徴としては、健常者と同じフロアで一緒に働



「スマイレ」(三河内)

いているということである。今後は引きこもり対策の雇用の場としても力を入れていくとのことであり、期待したい。

## よさの大学事業

多田正成

町民のための人材育成事業だが、岩屋小学校の休校舎が活用できないか。29年度はみらい大学に取組まれるが、町民大学として定着させ、地域の活気にもつなげては。

町長 みらい大学は学びたいテーマに合わせ場所を変えて行おうが、拠点も必要だと考えている。ひとつの方法として考えることもできる。



開校記念式典のようす

## 税条例の改正

### 女性が働きやすい環境

和田裕之

平成29年度地方税制改正では、いわゆる女性が働きやすく、活躍しやすい環境を作る観点から、改正が行われたが、主な改善点はどこか。

個人住民税における配偶者控除・配偶者特別控除の見直しで、所得要件が広がり、これまで76万円未満が該当だが、改正では123万円までが該当。

改正で所得要件が広がり、働きやすくなるが課題もある。どのような点かと思うのか。

社会保険の所得制限も課題ではないか。

### 人事案件

教育委員会委員の任命  
 委員 樋口 潔氏 (再任)

公平委員会委員の選任  
 委員 太田 明氏 (新任)

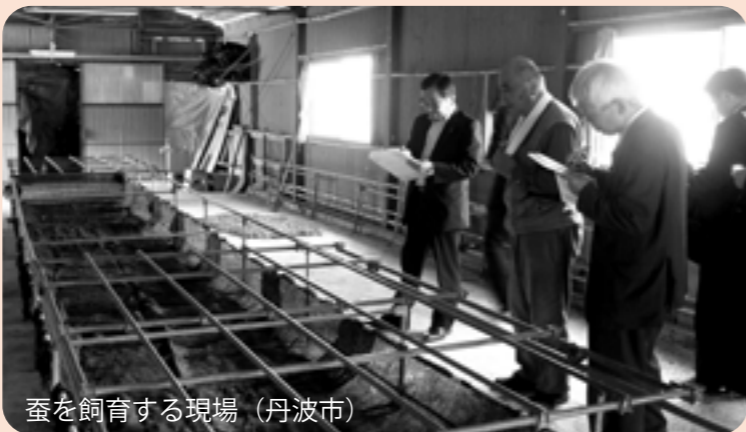
固定資産評価審査委員会委員の選任  
 委員 日高勝典氏 (再任)  
 矢野直也氏 (再任)

## 産業建設環境常任委員会

### 養蚕農家への視察研修

平成29年5月22日

与謝野町では、去る5月14日「与謝野シルクプロジェクト推進協議会」により、石川区の浪江谷に、4千本の桑苗を植樹、



蚕を飼育する現場 (丹波市)

本格的にプロジェクトが開始した。

委員会では、兵庫県丹波市春日町の柿原啓志氏が営まれている養蚕農家を視察した。60年以上養蚕を営まれ、兵庫県唯一の養蚕農家となった。

日本の養蚕農家の廃業が急激に加速した背景には、補助金の廃止もあり、全国各地で激減したという経過がある。

後継者がいないなか、03年に東京から、40代の原田さん(女性)をお弟子さんとして迎えた。

彼女は在米中、日本の絹と出会い、ニューヨーク・ファッション工科大学にて織物を学び、国内で国産生糸の作り方を、また、質の高い養蚕技術を学べる所を探し求め、柿原さんと出会った。

現在は養蚕から機織りまでの技術を習得し、現在は独立している。

当町においても、両者の貴重な技術、また助言も頂く必要がある。今後、様々な分野での産業や雇用が生まれるよう実践をし、結果を期待している。

柿原養蚕場では、蚕種を愛媛県より仕入れており、幅1.5m、長さ15mの床で2300頭飼っている。1ヶ月余りで繭になり、kg当たり2400円で年2回、春繭、秋繭として出荷している。桑の木は1反当たり600本植えている。繭の出荷だけでは輸入シルクとの価格の競合は大変厳しいと思われる。

## 請願 クアハウス岩滝の存続を求める請願

クアハウス岩滝を守る会 代表 西原 寛



クアハウス岩滝

要旨

現在、「クアハウス」は指定管理者制度で運営されている。

京都府下一の湯の温度、豊富な湯量(毎分211ℓ)を活用して浴槽、サウナ、温水プールを備えており開設から23年間に経過した。しかし施設の老朽化等により、廃止も視野に入れているとの議会答弁もある。この施設を町民の健康増進と子どもたちの学びの場として、今後も存続させることを強く要望する。

審議の経過

紹介議員の今田博文議員から本会議で趣旨説明のあと、産業常任委員会に付託

# どうなる「道の駅」

議員質疑の答弁では、同社の明確な会社概要や事業計画が示されなかった。

③平成29年1月16日  
道の駅の指定管理と今後の運営について、(株)DAISHIZENが資本参加をする意向の説明がされた(報告説明のみ)。

④⑤同年1月24日・26日  
16日の報告に対する議員の質疑を行なった。「2億円の改修計画」概要案が示された。議員から、指定管理が想定される(株)DAISHIZENはどういう会社か、今後の計画内容が解らないなどの質疑あり。今後の道の駅のあり方など、将来不安の見解が示された。

⑥同年2月3日  
町長から(株)DAISHIZENが資本参加中止の報告がされた。

⑦同年6月2日  
「フロントティア」が(株)DAIS

HIZENの支援により、「(株)TAGAYASU」と商号が変わり、定款も役員も変更したことが報告された。これに対し、多くの議員から「中止したのに、突然なぜ(株)DAISHIZENが出て来たのか」「指定管理してきた三セクが大きく変わるのに、議会に報告もなく決めたのか」「その変更目的や事業内容が不明確」「道の駅はどうあるべきか」など…多くの質疑があった。

⑧同年6月20日  
三セクの「フロントティア」と「(株)TAGAYASU」の登記や債務処理などに関わる質疑を行なった。



項目	変更前	変更後
【商号】	タンゴフロントティア(株) 設立 平成6年11月9日	(株)TAGAYASU (たがやす)
【本店】	京都府与謝郡与謝野町字滝	京都府与謝郡与謝野町字下山田
【目的】	1. 与謝野町生産物販売施設の管理運営	1. 公共施設等の管理・運営に関する業務
	2. 与謝野町大江山運動公園の管理運営に関する業務	2. (削除)
	10. 農林畜産品の加工、販売	9. 農産物の生産加工販売
【株式】		第7条 3. 種類株式を発行することができる。
	第27条 取締役及び監査役の報酬及び慰労退職金は、株主総会の決議をもって各別に定める。	第27条 取締役及び監査役の報酬、慰労退職金は、取締役会の決議をもって各別に定める。 2. 取締役3名の報酬総額は年額2000万円、監査役1名の報酬総額は年間100万円とする。
	代表取締役は、定款により取締役会の決議により取締役の中から選任することになっているため、株主総会の議決事項ではない。	
	提案を可決する旨の株主総会の決議があった日は平成29年5月30日、登記の日は平成29年6月1日	

《第三セクター・タンゴフロントティア(株)の変更箇所》

## タンゴフロントティアの株式譲渡

全員協議会

### 説明不足の行政に議会の質疑白熱!



がんばれ「野菜の駅」

●加悦生産物販売施設「ふるさと館」は、平成6年11月、地元野菜や商品の販売事業で開業、翌年4月には府内で3番目の「道の駅シルクのまちかや」の認定を受けた。

●開業以来、第三セクター(与謝野町が1000万円出資する事業所)の「タンゴフロントティア(以下「フロントティア」とする)」が施設の管理運営を担い、地域の核としての役割を果たして、意欲的な事業経営を行ない、交通の要衝に位置していたこともあり、業績を伸ばし、14年9月(第8期決算)では過去最大の売上になるなど順調に経営を続けてきた。

この間、町への寄与は1000万円を超えていた。

●しかし、近年は高規格道路の延伸などによって、業績が伸びず赤字決算が続ぎ、28年9月(第22期決

算)では債務超過に陥る「決算時の累積赤字額2582万円(資本金は2500万円なので82万円の債務超過)」。

●この下で、「フロントティア」は29年度からの指定管理者の公募に申請したが一旦取り下げて、「(株)DAISHIZEN」の支援を受ける再建策を模索してきた。

しかし、今年2月になって再建策が不調となり、結果、指定管理の応募者がなく、4月から町の管理になり、休業となった。

●今年4月24日に滝・金屋農業振興会から「要望書」が出されたため、同振興会の使用を許可し、6月10日より農産物販売所として再開をした。

《第三セクター・タンゴフロントティア(株)の変更》  
本年6月には、「フロントティア

」は、道の駅の施設管理業務を続けてきたが、今回の経営不振により、(株)DAISHIZENからの支援による第三セクター「(株)TAGAYASU」と商号も定款も役員も変更して、町のために「公益性・企業性」を保ち、今後の事業展開を行なおうとしている。

《11回の議会(全員協議会8回)の日程と協議など》

①平成28年11月22日  
道の駅・指定管理の「フロントティア」の経営状況が深刻な事態になっていることが、税理士から報告され、協議。

②同年12月19日  
「フロントティア」の再建策として、新たな出資者として(株)DAISHIZENが示された。

# 一般質問

## ここが聞きたい

「一般質問」は、定例会のみ行われるもので、行政全般にわたる議員主導による質問ですが、質問を受ける執行機関・理事者側も共に十分な準備が必要なために、事前通告制となっています。

そのほかの議案などに対する「質疑」は、提案された議案に対して疑義を問い質すことです。

※発言順に掲載しています

### 奥滝地区29世帯に影響! 水源に油流入の事故発生

奥滝浄水場に軽油が流れ込み全29世帯で水道水が使えない状況になった。

6月12日夜9時頃、水道水が臭うと住民から通報が入り町職員による現地確認の結果、作業道工事現場で油の臭いがするため、浄水場での取水を停止した。

原因は、浄水場の上流で行われている林道拡幅工事の現場から、発電機に使う軽油が漏れ出し、水道の原水である河川に流れ込んだことによるものと判明した。

町はその日のうちに広報車で「水道水に油が混入したため、飲まないように」と呼びかけ、翌日午前5時より地区内に給水車3台を配置した。その後は朝夕に給水車で各家庭を訪問するなどして給水が行われた。

その間地域住民は風呂や洗

濯、また、食事の関係など、不自由な生活が6月13日から15日間の長期にも及んだが、浄水場のろ過池、配水池などの洗浄やろ過砂の入れ替え、更に水道管や各家庭の温水機器などの洗浄が行われ、水質検査の結果異常がなかったことから27日午後3時に水道水の制限を解除した。



奥滝浄水場

#### 《議会の動き》

●緊急質問を今田議員が行なった。その要点は、原因と対処、住民の願いに沿った対応を求めた。

●6月19日、午後現地に入

り、対応処置と改修工事・洗浄工事などを視察した。

●6月20日、産業建設環境常任委員会を開催し、担当課から説明を受けた。一刻も早い普及に向けての要請を行った。

### 特集

## 略式代執行の経過(空き家対策)

### 今後の空き家対策に「対応基準」が必要!

本年1月18日、加悦奥区長から住民環境課へ、加悦奥区内にある大阪府在住の男性が所有する建物の壁が、隣家に倒れ掛かり危険を及ぼすとの連絡があった。

この建物は、すでに瓦屋根が抜け落ち、かつ内部から廃棄物などが壁を押し出す状況であり、緊急に対処すべきと行政は判断した。その後、所有者への連絡を試みたが所在は掴めず、「空き家等対策の特別措置法」の規定に基づき、当初となる略式代執行を、手順を踏まえて実施することとなった。

当初は倒れ掛かった壁面のみを撤去する予定であったが、今後更に危険が予測される箇所を取り壊しも含め行われることとなり、その作業の中で、火災が発生するという結果にもなった。なお火災の後処理については、請負業者の負担のもとで行われた。ここで、議会として問題となったのは、略式代執行のあ



かたづけた現場(加悦奥)

### Q 第3セクターはどうあるべきか

#### A 公共性・企業性双方を生かすものだ

**問** 第3セクターはどうあるべきか、または、その基準となるものは。

**町長** 公共性・企業性、官民双方のメリットを生かすものであり、出資の範囲を限度とし、損失補償、債務保証はない。

**問** 道の駅が閉鎖になった。タンゴフロントシア(株)は今後のようにされるのか。

**町長** 再建を進めている。民間事業者等による資本提携を模索している。引き続き指導、助言をする。

**問** タンゴフロントシアの役員交代・株の譲渡について事前に議会と、町民に報告がなされていないのは、なぜか。

**町長** 住民と議会に対し報告は必要と考えている。

**問** (株)タガヤスは何をする会社か。

**町長** 定款により行う。現時点では明かせないが今後はっきりする。



注目される「野菜直売所」

継ぐが、道の駅の管理運営をしないのは、違和感があるが。

**町長** 現時点は滝・金屋農業振興会が、農作物の販売を行っているが流動的だ。今後協議検討をする。



高岡伸明

**問** タンゴフロントシアの主な目的は、道の駅の管理運営だ。タガヤスは第3セクターとして引き

※(株)タガヤスの正式名はTAGAYASU

### Q 消防団の課題は団員確保と地域連携

#### A 団員確保は必要不可欠、行政も役割を果たす



家城 功

「初期消火」。地域や町民と連携し、より充実した体制づくりを目指し被害を最小限に食い止める取り組みを。町長 初期消火の重要性は認識している。地域や町民と連携を図り、理解と協力がより一層得られる取り組みを進める。

#### ブランド戦略その後は

問 各事業が遂行されているが、町民を巻き込んだ動きが見えてこない。大事なことは民間主導と仕事の創出。できるのか。

#### 町長

情報提供と地域連携は果たすべき役割。更に充実を図り進めていく。



ぜび消防団へ

### Q 日本遺産認定に伴う行政の取組みは

#### A 伝統の織物を軸に文化歴史的魅力を発信



藤田史郎

問 丹後地域2市2町での「300年を紡ぐ絹が織り成すちりめん回廊」が日本遺産に認定された。町の位置付けはちりめん街道の活性化であり、マスタープランの具現化、その中でも織物に関する資料館・博物館などが必要不可欠と思うが。

#### 町長

この選定での構成文化財一覧48項目中、当町関連は22、その内ちりめん街道内は13が示されている。ここを軸に今回の日本遺産認定を追い風に具現化に向けた諸施策を加速化させたい。2020年の「丹後ちりめん創業300年」をターゲットとして、国



ちりめん街道のシンボル

府と連携し観光・産業振興が図られると思うが、行政の窓口は。町長 海の京都DMOが実施主体であり、行政側は観光交流課が担当する。

問 丹後ちりめんをキーワードとして、与謝野町版ストーリーを作り、冊子などで情報発信すべきである。町長 補助事業の情報発信メニュー内で、取り組みを検討する。ちりめん街道のシンボルとして、旧加悦町役場の有効活用は重要な課題であるが。

問 府指定文化財の保存と活用という観点で協議している。町長 耐震と活用は必要であり、関係課内で協議を始めている。

#### 教育長

府指定文化財の保存と活用という観点で協議している。

### Q 町づくりにおける有害鳥獣対策は

#### A 事業主体の確定が必要となる



渡邊貫治

問 平成28年12月定例会で質疑した岩滝地内にある小学校老人ホームに入入りする害獣(イノシシ)に小学生や老人たちに危害を加えられないように(安心、安全)と指摘したが、行政はどのように対策をとったのか再度説明を求める。

#### 町長

有害鳥獣対策として①積極的な捕獲②緩衝帯などの里山環境の整備③有害獣防除フェンスの設置④住民への情報提供などを行っているが、岩滝小学校周辺地域は、有害獣防除フェンスなど設置がなされていない。

設置については「事業主体の確定」と「有利財源の確保」がある。



お手製の柵

#### 地元への発注度は

問 岩滝かえでこども園が7月開園である。設備や備品などの発注については、地元への発注度が悪いと聞かす。

#### 町長

町内業者を基本とし、町内一般公募により見積もり依頼をしている。審査の結果、全ての品目で1業者の落札となった。

事業主体の役割は、受益者負担金の取りまとめと納付である。有利財源の確保については町の役割として行うが、事業主体の確定には、地元区や学校等施設の管理者などに検討をお願いしたい。

### Q 日本遺産認定による産業振興策は

#### A 商工業への持続的な取り組みが必要である

問 認定ストーリーは丹後地域の2市2町。文化庁の日本遺産魅力発信推進事業の予算は全体で29年度14億円となっている。

#### 町長

補助事業は今後3年間で約1億円を要望。構成市町で行い、実施主体は「海の京都」DMO。丹後の織物文化を通じた観光づくりであるが、認定を受けて新たに産業振興に活用する取組みは。

#### 町長

「丹後ちりめん」創業300年記念事業とのかかわりもあり、今回の認定を契機として持続的な取り組みが大事である。商工会機業部会の意見も聞いていきたい。

#### 問

認定を受けて、お祝い一色大歓迎である。ブランド戦略みえるまちの広告では織物業が負の遺産と記され、以前に不適切であったとされたが、町のフェイスブックではそのまま



塩見 晋



活かせるか日本遺産認定

問 補足説明を付けるなどの対応をしたい。

#### 町長

補足説明を付けるなどの対応をしたい。

#### 伝統文化で地域活性化

#### 問

伝統芸能や伝説、昔話、祭り、生業など様々な文化が、過疎化や高齢化などの進展により消滅していく危機にあり、継承が困難になっているものもある。「デジタルアーカイブ」による取組で、伝統文化の記録・保存継承や利用ができるが。

#### 町長

保存や伝承に有効な手段と考えられるので「ちりめん回廊」の事業とともに検討をしたい。





河邊新太郎

**問** 制度のはざままでどこに相談していいのかわからない生

活困窮者のために、コミュニティソーシャルワーカーの配置が必要ではないか。

**町長** 町では、丹後保健所や京都自立就労サポートセンターと協働し「与謝野町くらしとごとの支援ネットワーク」を構築している。ネットワー

### 生活困窮者に支援を

#### A 関係機関連携のもと支援を継続する

**問** 離職者や住宅を失った人の就労支援は。

民生児童委員協議会、福祉事業所や一般企業に参加してもらい、就労支援、子育て支援、脱引きこもり支援に取り組んでいる。

**町長** ハローワークや企業の就労体験などのつなぎを行い、就労までの支援を行っている。  
**問** 子どもの困窮対策に学習支援が必要ではないか。  
**町長** 生活困窮世帯に属する子どもの学習支援・生活支援事業として小学生から高校生を対象にNPO法人に委託している。今後も関係機関と連携していく。

#### 地籍調査の取り組みは

**問** 進捗状況は。

**町長** 宅地・農用地だけの進捗率は75%である。加悦地域においては、香河と温江の一部以外は未整備だ。



支援の要！社協

### 北朝鮮ミサイルの緊急時の周知は

#### A 国の全国瞬時警報システムや防災行政無線で

**問** 秋田県など5市町で住民の避難訓練を行っている。当町も必要と思う。

**町長** 消防庁に確認するが、発射されていらないのに鳴らすのは町民にリスクがある。国防の観点からも日本政府に防衛努力を更にお願したい。

**問** 秋田県が県内の市町に呼びかけ県全体の訓練を近く行う。

**防災課長** 府も研究中であり、町も連携し情報を共有し考えていく。

**問** Jアラートは我が国などの範囲に飛来すると当町に告知するのか。通過、着弾予想だが国が判断する。



安達種雄

**問** 今春から特に北朝鮮のミサイル発射が頻発だが、国、府からの情報は。

**町長** 4月21日付けで、消防庁国民保護防災部よりミサイル落下時の行動の在り方や、Jアラートや緊急速報メールなどで、住民へ周知を広く行う指導がありチラシを全戸配布した。チラシは町独自のものが。緊急時に「特別サイレン音」とある

**問** が、事前に住民が聞く必要がある。住民が聞く必要がある。チラシの下部に書いてあるサイトにアクセスすると、国民保護サイレンが聞ける。

**防災課長** 住民が聞く必要がある。チラシの下部に書いてあるサイトにアクセスすると、国民保護サイレンが聞ける。

**問** この方法で何人の住民が確認できると思うか。

**町長** 9千世帯の内アクセスして聴ける数は不明。



京都新聞より

### 小中学校トイレの洋式化率の向上を

#### A 必要性は認識しており計画的に推進したい

**問** なぜ進んでこなかったのか。

**学校課長** 2校については、町長も答弁したが、ポータブルで対応している。

**問** ポータブルは、暫定的な物だ。教育委員会はこれで良いとの判断か。

**学校課長** 衛生面もあり良いとは考えていない。

**問** 2校だけが全くゼロなのは問題だ。計画だけで何年放置されているのか。各階に1基だけでも、早急に改修すべきだ。

**町長** その必要性は十分に認識しており、計画的に推進して行きたい。



和田裕之

**問** 文科省は2016年に、全国公立・小中学校のトイレ実態調査を実施し、結果を公表した。その結果洋式は43・3%しかないことが明らかとなった。今日家庭では約9割が洋式であり、民間・商業施設でも、清潔な洋式トイレが主流だ。しかし、小中学校のトイレは、依然「洋式化」が進んでいないのが実態だ。製薬会社の調査では、小学生の30%が学校で排便をしないと答え、その理由はトイレ環境などが挙げられ、洋式トイレを増やしてほしいと望む児童が60%にも上る結果だ。

当町でも洋式化率は向上しているが、石川小学校と江陽中学校の2校においては、洋式が1基もなくゼロだ。怪我など和式が使いにくい生徒には、大きな問題であり学校間の格差も生じてい



古くなった和式トイレ

### 夢と希望の町づくり基本構想は

#### A 町民憲章を守り総合計画を将来像とする

**問** 町民が抱き町長が描く夢と希望の町とは。

**町長** 町民憲章にある5つの理念に集約される。

**問** 夢と希望を叶える事業構想は。

**町長** 与謝野町総合計画である「水・緑・空・笑顔がやくふれあいのまち」を将来像とする。

**問** 「事業構想」実践戦略、手段は。

**町長** 「みんなの知恵と技術で新たな価値を生みまわす」の推進を基本に6つの政策を遂行。

**問** 就任3年を経た現在施策の達成度と今後の課題は。

**町長** 農商業の振興、観光交流、子



江原英樹

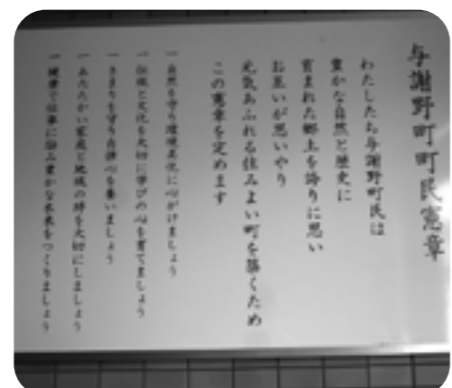
**問** 秋田県など5市町で住民の避難訓練を行っている。当町も必要と思う。

**町長** 消防庁に確認するが、発射されていらないのに鳴らすのは町民にリスクがある。国防の観点からも日本政府に防衛努力を更にお願したい。

**問** 秋田県が県内の市町に呼びかけ県全体の訓練を近く行う。

**防災課長** 府も研究中であり、町も連携し情報を共有し考えていく。

**問** Jアラートは我が国などの範囲に飛来すると当町に告知するのか。通過、着弾予想だが国が判断する。



夢のあるまちづくりを

育て、教育分野と、着実に前進している。今後は成果と結果を実感していただき満足度向上に邁進する。

#### 職員の意識改革と教育

**問** 新しい視点での町づくりには従来の延長ではない人材育成が必要。適切な研修を実施すると共に「講演会」や「行政円卓会議」を充足させた。

#### 産業の官民連携強化を

**問** 既存企業のブラッシュアップと民間主体の官民連携強化事業構想を。

**副町長** 今までの伴走、応援に加え、新組織体制「与謝野ブランド戦略推進協議会」の設立を進める。

### Q 将来の財源不足の解消改善策を問う

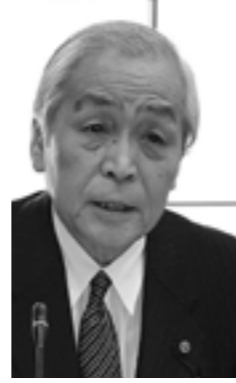
#### A 特別会計などの値上げを計画的に行う

**問** 旧町単位の1園の建設計画は変わっていないが、財源確保が困難。そのための財源が合併特例債だ。他の事業への流用が多い。合併特例債のうち法定積立が約16億円あるが、建設事業に使えないのか。

**町長** 旧町単位の1園の建設計画は変わっていないが、財源確保が困難。そのための財源が合併特例債だ。他の事業への流用が多い。合併特例債のうち法定積立が約16億円あるが、建設事業に使えないのか。

**問** 公共料金値上げやふるさと納税を求めただけでは意味がない。行財政全般の厳しい財政をどう克服するのか。将来の財政抑制に繋がる例で言えば幼保一体型認定こども園が公共施設統廃合の最たる事業で先送りするとなお財政が厳しくなる。

**町長** 旧町単位の1園の建設計画は変わっていないが、財源確保が困難。そのための財源が合併特例債だ。他の事業への流用が多い。合併特例債のうち法定積立が約16億円あるが、建設事業に使えないのか。



多田正成

**企画課長** 積立分は当初はハードには使えなかったが、今は使える。特例債そのものは期限があるため、期限内での有利な発行に努めたい。

#### 資産の有効活用で活性

**問** 加悦工芸の里の周遊道路を囲む壁面の山の持主はどこか。

**町長** 調査した結果「北側が金屋区、南側が個人と町所有」となっている。

**問** 壁面や桜に力キツバタや山花を群生させ活性化が図れないか。

**町長** リフレ、SL広場、椿の里周辺一帯を含め活性化させたい。

**問** 悦鉄道跡地が約800m、1万坪あるが地域の共助と公助によって土手には芝桜、鉄道敷跡にふじの花。

**町長** 区画整備事業区域であり具体論が必要。提案として考えておく。



SL広場

### Q 「協働のまちづくり」の拡充強化を

#### A 町の基本目標として新総合計画でも進めたい



伊藤幸男

ば、リフレかやの里では地域団体や住民との「協働」を広げ、協議の中で主体的な運営をしている。②自治区や公民館の活動では住民が主体となって進めている。どの区でも、近年の人口減少や少子高齢化の下で地域の解決すべき課題が多種多様になり、担い手不足なども出てきている。住民主体での取り組みであり、このことが目標と考える。この点は町が指図すべきことではなく、今後も支援はしていく。



進む協働のまちづくり

### Q 家庭ゴミが有料になると負担増だ

#### A ゴミの減量化や負担の公平化が期待できる

**問** 28年度の減量目標40%に対し、達成率は6・4%であった。①有料化で何%の減量になるのか。②有料化の方式と金額は。③弱者への対策は。④デメリットとその対策は。

**町長** ①有料化をすることで、削減量は15%程度を見込んでいる。②排出量に応じて手数料を負担する方式を採用する。価格は検討中。③高齢者世帯や乳幼児世帯はゴミ袋の配布などを配慮する。低所得者対策は、手揚げゴミ袋の料金を安くする。④デメリットは、町民負担の増加や不法投棄の増加が懸念される。負担の増加は、公平化や有料化に



宮崎有平

による収入を、弱者へのゴミ袋の配布やゴミ減量化対策などに使用する。



どうなる有料化!

**問** 全国で、多くの犯罪が防犯カメラによって、解決している。また、犯罪の抑止にもなっている。町民の安心と安全に必要であり、子どもの見守りや認知症のお年寄りの捜索にも効果がでている。

**町長** 府に対し「防犯カメラ設置支援制度」や「地域防犯対策に対し財源支援を行うこと」などを要望し、設置に関する研究をしていく。ハード面だけでなく地域コミュニティの維持によるソフト面における防犯対策の推進に取り組みながら安心安全のまちづくりを進めていく。

### 人事異動による理事者席の新配置



勢籟 毅



事務局長 小牧 伸行

録音機器	事務局・書記 須田 美鈴	防災安全課長 藤垣 浩二	CATVセンター長 森岡 克成	税務課長 平野 公規	保健課長 前田 昌一	上下水道課長 山添 雅男
商工振興課長 小室 光秀	観光交流課長 植田 弘志	農林課長 井上 雅之	教育次長 坪倉 正明	学校教育課長 山本 泰久	建設課長 吉田 達雄	子育て応援課長 長島 栄作
企画財政課長 小池 大介	総務課長 浪江 学	副町長 和田 茂	教育長 塩見 定生	代表監査委員 足立 正人	会計室長 小池 信助	福祉課長 浪江 昭人



## 橋立中学校の紹介

橋立中学校は今年度から養老地域が校区となりました。天橋立をまるごと校区にもつ本校では“ふるさと丹後”について考える取組を大切にしています。1年生は「海と星の見える丘公園」で、環境や自然について学習した後、故郷の大切さや観光資源について学び、地元の自然マップを作成しています。2年生は篠山市で、文化や歴史、産業について学習し、改めてふるさと丹後について考える機会を持っています。3年生は修学旅行先の東京で丹後についてアンケートを行いました。出発前には加悦の絹糸でストラップを作成し、アンケート協力のお礼としました。アンケートをもとにふるさと丹後の今とこれからについて考えをまとめ、発表会を行います。



## 山田保育所の紹介

山田保育所は、0歳児から5歳児の子どもたちが元気に通所しています。

保育所の裏には、京都丹後鉄道の線路があり、子どもたちは毎日汽車の音を聞き、汽車に手を振り親しんでいます。今、園全体で頑張っているのは、リズムあそびです。曲に合わせて、うま、とんぼ、カメ、うさぎ、めだかなどの生き物の動きをしたり、スキップやボールカステップなど、元気にホールの中を動きまわっています。

毎日の積み重ねが子どもたちの体づくりに役立っています。また、大きい子どもたちの姿を見て、小さい子どもたちも「やってみよう」という意欲が芽生え、1番



小さい0歳や1歳の子どもたちも楽しんでリズムあそびをしています。「異年齢児との関わりの中で育ち合う」そんな姿が見られる保育所です。

5歳児は、近くのデイサービスに来ておられる高齢者の方との交流を毎年続けています。一緒に歌をうたったり、ゲームをしたりと短い時間ですが楽しく過ごし、核家族が多い中、高齢者の方との関わりを通していろいろな経験をさせてもらっています。

子どもたちが元気で笑顔あふれる保育所を目指して、安心、安全な環境を整え、みんなで楽しさや喜びを共有し、家庭と地域の絆を大切にしていきたいと思えます。

